

【複合文化論系 新2年生 対象】
2025年度 科目登録ガイダンス



INTERDISCIPLINARY
STUDIES OF CULTURE

1. 科目登録について

- 科目登録は「2025年度科目登録の手引き」を熟読し、これに従って行ってください。

複合文化論系独自の卒業要件などはありませんが、**必ず以下の記載事項やリンク先を熟読の上、慎重に科目登録を進めてください。**

手引きの入手先：<https://www.waseda.jp/flas/cms/students/registration-2/>

- 3年次よりゼミへの所属を希望する場合は、**必ず**希望するゼミの担当教員の「履修モデル」を参考に、**慎重かつ計画的な科目登録を心がけてください。**

文化構想学部ホームページ 複合文化論系履修モデル：

<https://www.waseda.jp/flas/cms/about/theoretical/isoc/>

- 卒業研究を選択する場合は、**どのような研究をしたいのかを念頭においてみずから慎重に履修計画を組み立ててください。**

- 留学し、かつ、4年間で卒業するには、留学中に修得した単位を、卒業に必要な単位として認定してもらうよう留学後に申請する必要があります。とくに、（卒業研究ではなく）ゼミを選択する場合には、留学中にそのゼミと同様の内容の科目を履修し、それをゼミの単位として認定してもらう必要があります。あらかじめ、希望するゼミの担当教員に、どのような科目であればゼミの単位として認定してもらえるか、相談しておきましょう。単位認定については「科目登録の手引き」の該当ページと文化構想学部ホームページの「留学」のページ（<https://www.waseda.jp/flas/cms/students/abroad/>）を確認してください。2025年度秋学期に留学を予定している場合は、かならず下記の【留学予定者のゼミ選考面接について】も確認してください。

2. 2025年度の複合文化論系プログラムとゼミについて

【2025年度の複合文化論系プログラムとゼミ】

言語文化プログラム

- ・加藤大鶴ゼミ「ことばの歴史・ことばの地理」
- ・酒井智宏ゼミ「ことばの科学・ことばの哲学」
- ・陣野英則ゼミ「ことばと文学・ことばと美意識」

人間文化プログラム

- ・國弘暁子ゼミ「宗教への人類学的アプローチ」
- ・寺崎秀一郎ゼミ「文化ツーリズム論」
- ・松前もゆるゼミ「移動・移住の人類学」
- ・箕曲在弘ゼミ「環境と開発の人類学」

超域文化プログラム

- ・坂上桂子ゼミ「都市と美術」
- ・宮城徳也ゼミ「文化変容論」
- ・山田真茂留ゼミ「集合的アイデンティティの諸

感性文化プログラム

- ・小沼純一ゼミ「音＝音楽文化論」
- ・小林信之ゼミ「現代の文化哲学」
- ・高橋利枝ゼミ「メディア・コミュニケーション論」

【ゼミ決定までの流れ】＊下記の日程は予定ですので注意してください。

2025年 7月頃：文化構想学部ホームページにおいてゼミ・卒業研究詳細情報の公開

9月頃：文化構想学部ホームページにおいてゼミ要項や選考方法の公開

ゼミ・卒業研究申込前ガイダンスの開催

10月頃：オープンゼミの開催（※）

10～12月頃：ゼミ選考期間

※（参考）2024年度のオープンゼミについて

<https://fukugo.kinsta.cloud/?p=1040>

【留学予定者のゼミ選考面接について】

複合文化論系では、3年次より論系ゼミへの所属を希望する場合、2年次の秋学期のゼミ選考期間中に希望するゼミを申請し、面接を受ける必要があります。2年次の秋学期に留学を予定している方は、この期間中に対面での面接を受けることができませんが、2022年度以降は代替措置としてオンライン面接を実施することで、通常通り選考を行っております。詳細は4月頃にWaseda Moodleの「複合文化論系2年生」のページなどを通してお知らせしますので、該当者は論系からのアナウンスメント配信に注意してください。

3. メールに関するお願い

2020 年度以降は新型コロナウイルスの流行による授業のオンライン化によって、みなさんとメールをつうじて連絡をとる機会がたいへん多くなりました。しかしながら、Waseda メールを頻繁に確認しておらず、論系室や先生からの重要なメールに返信がなかったり、送り主の氏名の記載がないメールがとどいたりなど、メールに関するトラブルが発生しています。なかには、メールに返信しなかったために、希望のゼミに入れなかったという事例もあります。そこで、論系室から Waseda メール のメールソフト設定とメールの書き方に関するお願いがあります。

【Waseda メール のメールソフト設定について】

Waseda メールは My Waseda のページだけでなく、パソコンやスマートフォンのメールクライアントソフトで送受信することができます。ソフトを設定してしまえば、メールを受信した際にパソコンやスマートフォンで通知が出るはずですので、重要なメールを見落としにくくなります（※）。みなさんもぜひこの機会に設定してください。ここではスマートフォンのメールアプリの設定について紹介します。画像つきの設定ガイド：

https://www.waseda.jp/navi/services/waseda-mail/doc/WMG_cliant_config_guide_j.pdf

※ ただし、なんらかの不具合により通知がとどかないこともあるので、最低限 1 日に 1 回（あるいは少なくとも 2 日に 1 回程度）はメールをチェックすることを習慣化しましょう。

（1）IMAP を有効にする

MyWaseda 上で Waseda メールを開く

- 右上にある歯車の設定アイコン > 「すべての設定を表示」をクリックする
- 「メール転送と POP/IMAP」タブをクリックする
- 「IMAP アクセス」の「IMAP を有効にする」をクリックする
- 「変更を保存」をクリックする

（2）メールアプリを設定する（*アプリは下記以外のものでもかまいません）

iOS メールアプリ（iPhone のみ）	
歯車の設定アプリを起動	→ 「メール/連絡先/カレンダー」を選択
→ 「アカウントを追加」を選択	→ 「アカウントを追加」画面で「Google」を選択
→ 「ログイン」画面で Waseda メールアドレスを入力し、「次へ」を選択	
→ MyWaseda のログイン画面が表示されたら、ID とパスワードを入力し「Login」を選択	
→ 「保存」を選択	
Gmail アプリ（iOS 版もありますが、Android 版で説明します）	
Gmail アプリを起動→ 「メールのセットアップ」画面で「Google」を選択	

- 「ロック画面パターンを描画」または「ロック画面のパスワードを入力」画面が表示されたら、画面ロックの解除と同じ動作を行って解除
- 「ログイン」画面で Waseda メールアドレスを入力し、「次へ」を選択
- プライバシーポリシーと利用規約を確認し、「同意する」を選択
- MyWaseda のログイン画面が表示されたら、ID とパスワードを入力し「Login」を選択

Waseda メールに関する問い合わせ先：IT ヘルプデスク Waseda-net 担当

★MyWaseda のグローバルメニュー [IT サービス] で、左のサービスメニュー[システムに関する問い合わせ、申請 (ヘルプデスク)] をクリックし、表示されるフォルダ・ファイルから適切なフォームを選んで問い合わせてください。

【メールの書き方について】参照先：<https://mynavi-cr.jp/inexperience/business-mail/>

メールには、LINE などのメッセージとはちがって、書き方にルールがあります。このルールを知らずにメールを送ると、相手に失礼になり、場合によってはメールを確認してもらえなかったり、返信してもらえなかったりします。メールは社会人になっても使用するので、いまのうちにマスターしておきましょう。

(1) 件名には用件を書く

例：「〇〇入門のレポートについて」、「ゼミ論文の作成方法について」

* 件名がなかったり、「こんにちは」などの挨拶は NG

(2) 本文の最初には宛名を書く

例：「複合文化論系 〇〇〇〇先生」、「文学学術院事務所 御中」

(3) 始めの挨拶を書く

例：「はじめてメールをさせていただきます。複合文化論系〇年の〇〇と申します。」

「いつもお世話になっております。早稲田大学の〇〇です。」

(4) 用件は簡潔に書く

例：「〇〇入門のレポートを作成したのでお送りいたします。」

「ゼミ論文の作成方法についてわからない点があったため、お尋ねいたします。…」

(5) 締め挨拶を書く

例：「ご査収のほど、よろしくお願ひいたします。」*レポートなどを送るとき

「ご返信いただけますと幸いです。よろしくお願ひいたします。」

(6) 文末に自分の氏名や連絡先を書く

例： 複合 太郎
早稲田大学 文化構想学部 複合文化論系2年
電話：03-5286-3597
メール：info@fukugo-waseda.jp

*電話番号などを教えたくない場合は書かなくてもかまいませんが、氏名と所属先はほとんどの場合、必須です。

4. 論系室について

• 助手について

複合文化論系室には開室中、助手が在室しています。授業のことなどで相談がある場合は、ぜひ助手におたずねください。

• 学生利用のコピー機について

なお、複合文化論系室 3（808）では、無料で利用できる複合機（使用枚数制限無し）をご用意しております。

コピー機の使用可能時間は、論系室 3（808）の開室時間に準じます（開室予定は論系ホームページ（<https://fukugo.w.waseda.jp>）を参照。事前連絡は不要です）。

利用可能な機能は、

(1) コピー（白黒／カラー、片面／両面印刷可。USB からの印刷も可）

(2) スキャン（～A3。USB への保存が可）

となります。

• 論系室の利用について（要事前申請）

また、グループワークのための部屋（PC、プロジェクター完備）を貸し出しています。利用方法については毎年4月頃に Waseda Moodle の「複合文化論系2年生」のページを通じてお知らせします。

開室：下記複合文化論系 Web サイトに開室日程の最新情報を掲載しています。ご参照下さい。

場所：戸山キャンパス 33 号館 8 階 808 号室（複合文化論系室3）

Tel：03-5286-3597（内線：72-3583） E-mail：info@fukugo-waseda.jp

Web：<https://fukugo.w.waseda.jp> Twitter：<https://twitter.com/fukugowaseda>

※ お問い合わせはE-mailをご利用ください。



807号室（複合文化論系室2）はPC、プロジェクタなどを完備しており、ゼミやグループワークなどに使用できます（要事前申請）。



複合文化論系 HP